



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「温泉（源泉）数」と「近代化産業遺産認定数」です。



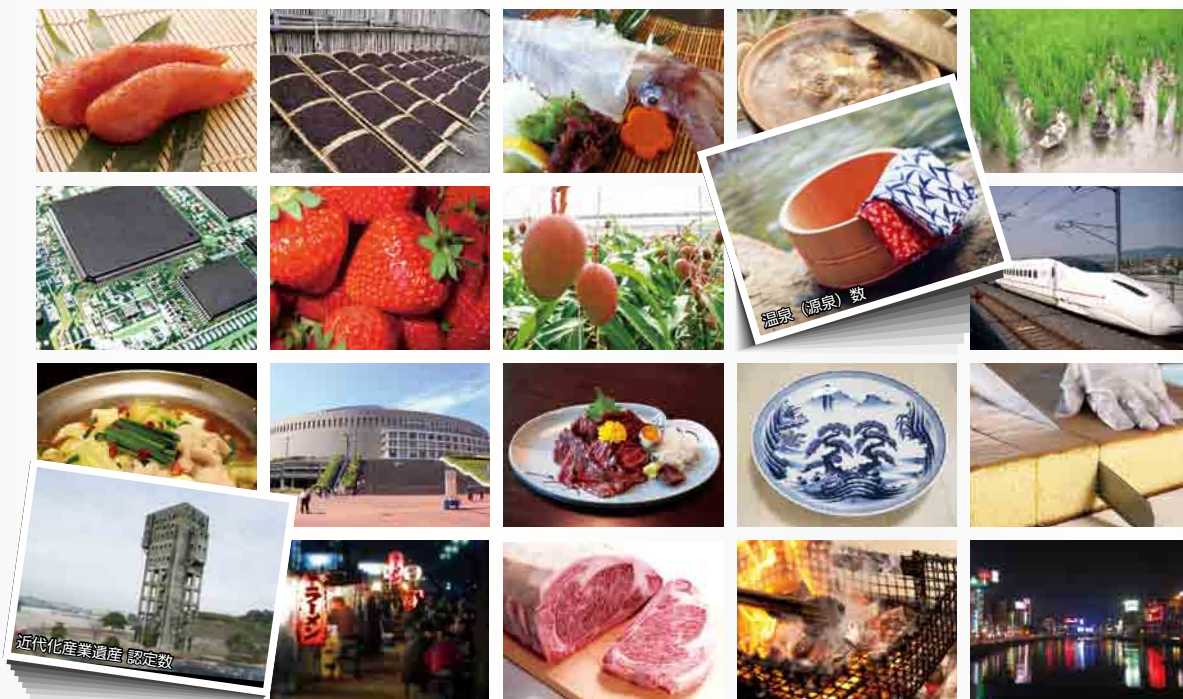
近代化産業遺産

検索



温泉

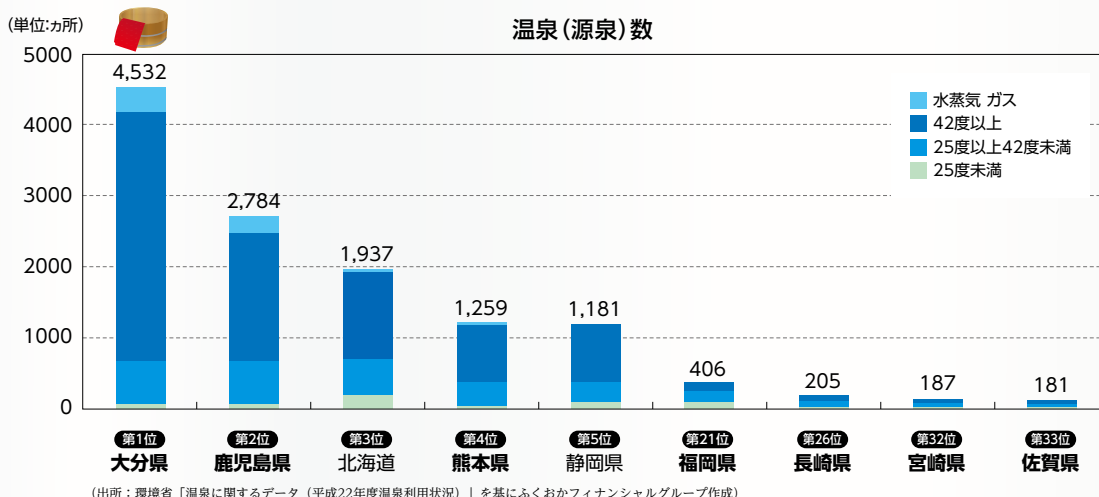
検索



温泉（源泉）数

火山国である日本は、世界有数の温泉国です。健康増進に効果が期待される水質も多く、昔から多くの日本人に親しまれてきました。源泉数は、大分県、鹿児島県、熊本県といった活火山の多い九州に多く、高温の源泉も多数存在しています。特に由布岳や鶴見岳を擁する大分県の源泉数は、日本一となっており、「由布院温泉」や「別府温泉」、「^{すじの}筋湯温泉」といった名湯が数多く存在しています。

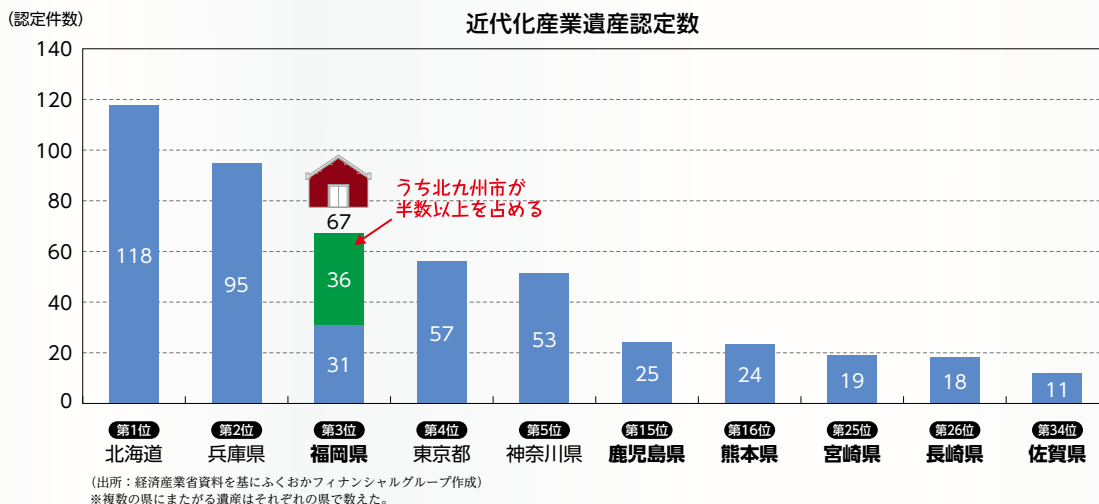
寒さが応えるこの季節、のんびりと温泉につかって日頃の疲れを落とし、気分新たに新年をスタートしてみてはいかがでしょうか。



近代化産業遺産 認定数

幕末から明治にかけ、日本は西洋を手本に産業の近代化を果たしました。福岡県は北海道や兵庫県に次ぐ、「産業遺産」が多く存在する都市となっています。産業遺産とは、平成19年から、経済産業省が産業近代化に貢献した建造物や機械等を産業遺産として認定する制度で、現在では、地域の観光資源として活用されています。なかでも、北九州は、鉄鋼、炭鉱関連の産業遺産が多く、福岡県の産業遺産の半数以上を占めています。

我が国の近代化を支えてきた北九州市は、今年2月に「市制50周年」を迎えます。北九州市は、未来都市に向けた「世界の環境首都」を目指し、次の50年に向かって新たな一歩を踏み出しています。



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きに一部弱さが見られる

生産活動は、自動車等の減産を主因として輸送機械が大幅に低下し、総合指数は一昨年の震災時の水準近くまで低下する等、持ち直しの動きに弱さが見られます。

住宅建設は、消費税増税を意識した着工増加により好調を維持していますが、消費面では、大型小売店販売額が3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

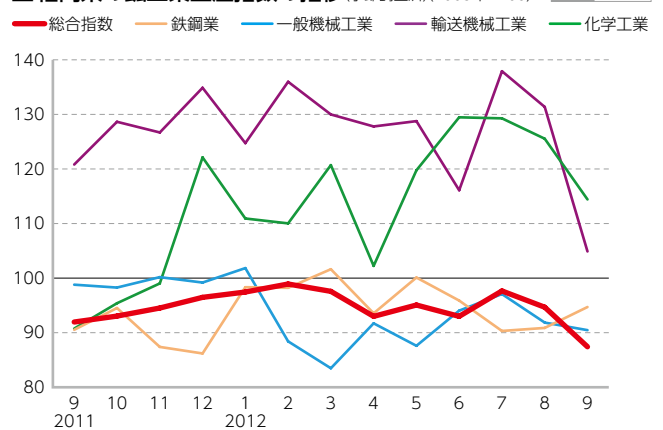
福岡県の景気は、総じて持ち直しの動きに一部弱さが見られます。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で低下

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.4となり前月比7.8%低下しました。

主要業種では、輸送機械がエコカー補助金制度の終了や中国向けの自動車関連の輸出の落ち込みにより大幅に低下した他、医薬品等の生産が減少した化学、及び、一般機械が低下しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



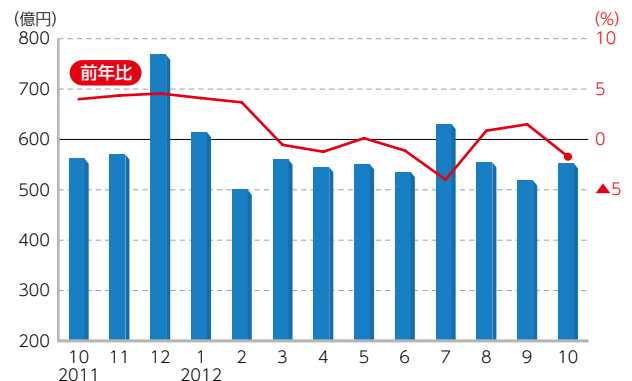
2.大型小売店 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

10月の大型小売店販売額は、前年同月比1.7%減の553億円と、3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

月中旬まで気温が高かったことから秋冬物衣料品等の動きが鈍く、主力の衣料品等、全体的に売上は低調に推移しました。

■ 福岡県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



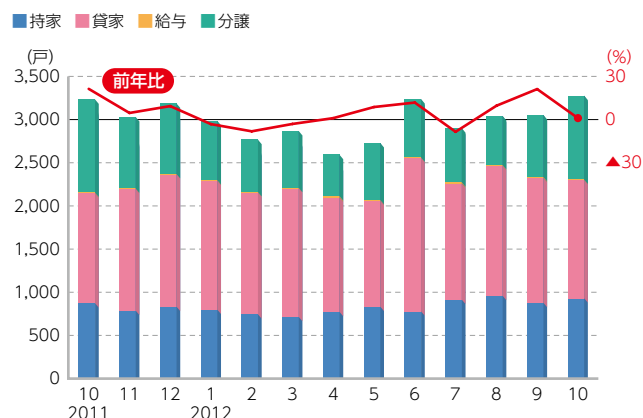
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、3,275戸と前年同月比1.3%増加し、3ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」「貸家」が前年を上回っている他、「分譲」は、大型マンションの着工が相次いだ前年に比べると下回っていますが、消費税増税前の駆け込み需要を意識した着工により好調を維持しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



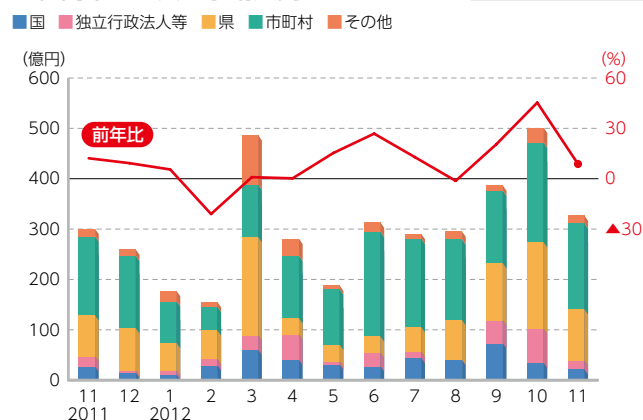
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比4.8%増の1,180件、金額は同8.7%増の326億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、大学施設整備工事等の大型案件があった「県」が前年比で増加した他、水害対策(雨水幹線築造)工事があった「市町村」等も前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



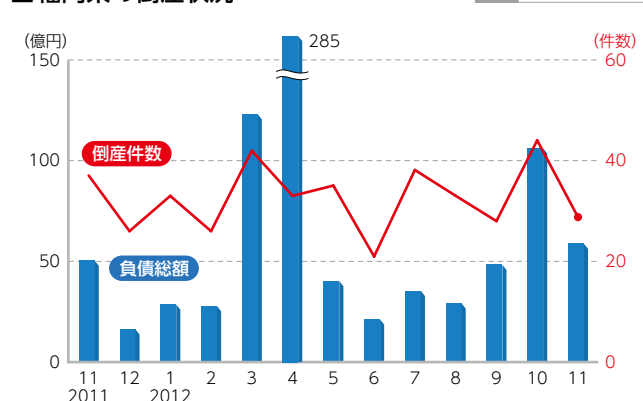
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比21.6%減の29件、負債総額が同17.0%増の約59億円となりました。

販売不振を原因として、製造業において約25億円の倒産があった他、小売業で約10億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きに一部弱さが見られる

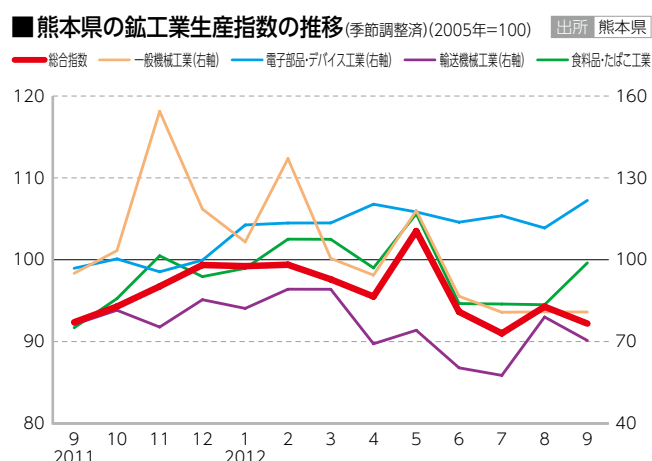
生産活動は、輸送機械の減産等を主因として、4ヵ月連続で総合指数が100を割る水準が続く等、持ち直しの動きに弱さが見られます。住宅建設は、分譲マンションの着工が好調であり、緩やかな持ち直しの動きが続いていますが、消費面では、大型小売店販売額は、4ヵ月連続で前年を下回り、弱めの動きが見られます。

熊本県の景気は、総じて持ち直しの動きに一部弱さが見られます。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.2となり、前月比2.1%低下しました。

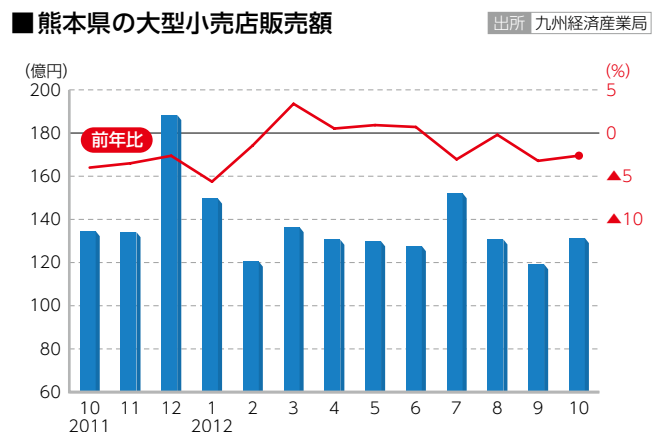
主要業種では、携帯端末等に用いられる液晶素子の増産等で電子部品・デバイス等が上昇した一方、輸送機械が2ヵ月ぶりに低下しました。



2.大型小売店 | 4ヵ月連続で前年を下回る

10月の大型小売店販売額は、前年同月比2.6%減の131億円と、4ヵ月連続で前年を下回りました。

化粧品や宝飾品等の一部の商品は好調でしたが、主力の衣料品や飲食料品等、全体的に売上は低調に推移しました。



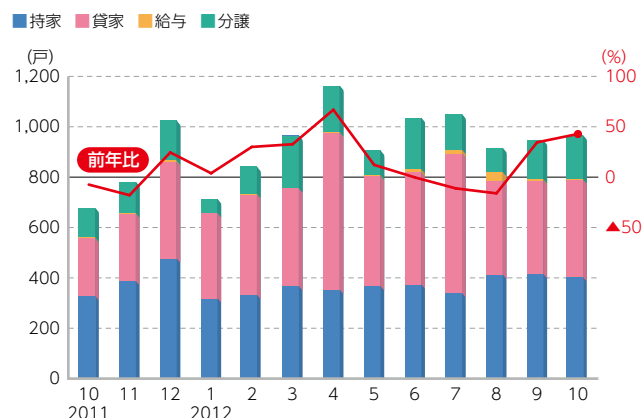
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、965戸と前年同月比42.3%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。足もとでは、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数で、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きが見られます。

「分譲」は、消費税増税前の駆け込み需要を意識した着工によりマンションが大幅に増加した他、「持家」「貸家」も順調な着工が続き、前年を上回っています。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



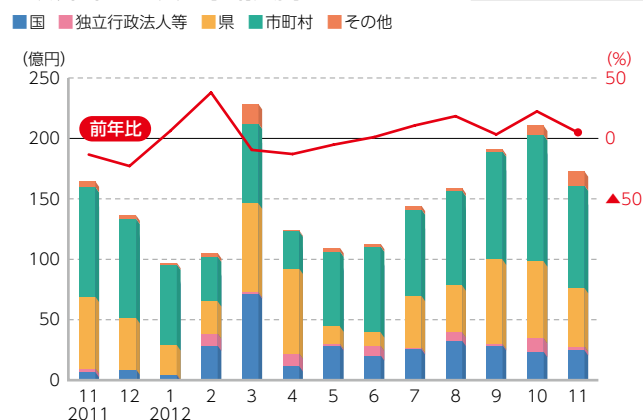
4.公共工事 | 6ヵ月連続で前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比4.7%増の831件、金額は同4.9%増の172億円となり、請負金額は6ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、土地区画整理組合が発注する大型案件があった「その他」が前年比で増加した他、「国」も前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



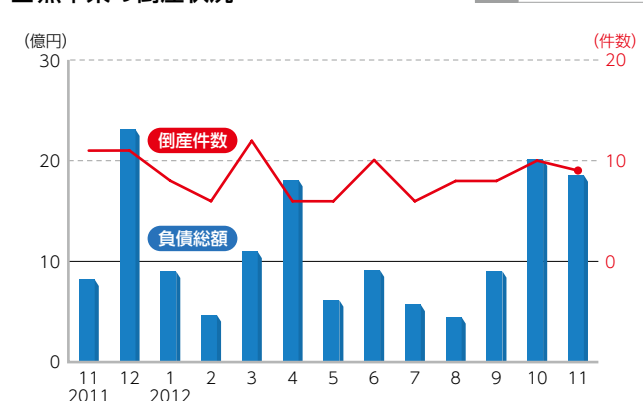
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比18.2%減の9件、負債総額が同127.1%増の約18億円となりました。

受注環境の厳しい建設関連で、設備投資過大を原因とする約8億円の倒産があった他、約7億円の倒産も発生し、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

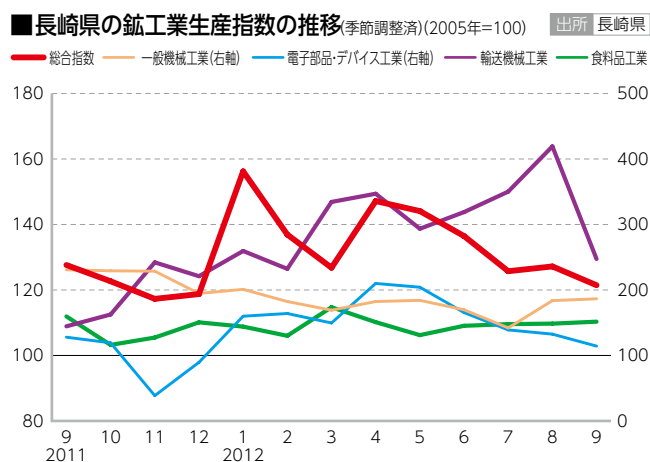
生産活動は、造船関連で高操業を維持する等、水準は高く、緩やかな持ち直しの動きが続いています。大型小売店販売額は、前年割れの水準が続く等、弱い動きが見られます。住宅建設は、2ヶ月連続で前年を上回った他、公共工事は4ヶ月連続で前年を上回りました。

長崎県の景気は、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いています。

1.生産活動 | 総合指数は前月を下回るも、高い水準で推移

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は121.6となり、前月比4.4%低下しました。

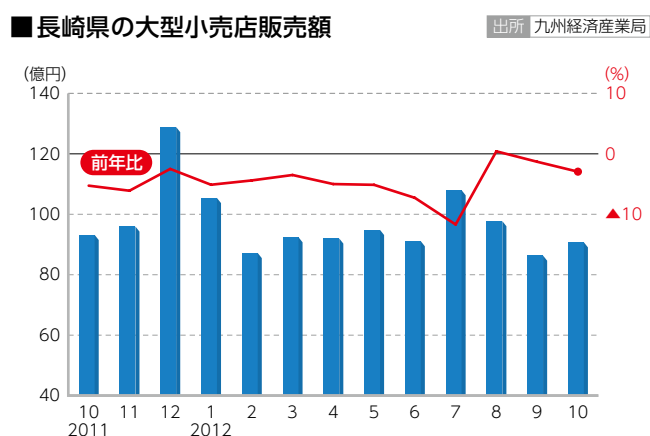
主要業種では、半導体集積回路の海外需要減速等により電子部品・デバイスが低下したものの、造船関連で高操業が続く輸送機械が高い生産水準を維持している他、新興国の発電プラント向けタービン等が増産となった一般機械、及び、食料品が上昇しました。



2.大型小売店 | 2ヵ月連続で前年を下回る

10月の大型小売店販売額は、前年同月比2.9%減の90億円と、2ヵ月連続で前年を下回りました。

秋冬物衣料品等の動きが鈍く、主力の衣料品等、全体的に売上は低調に推移しました。





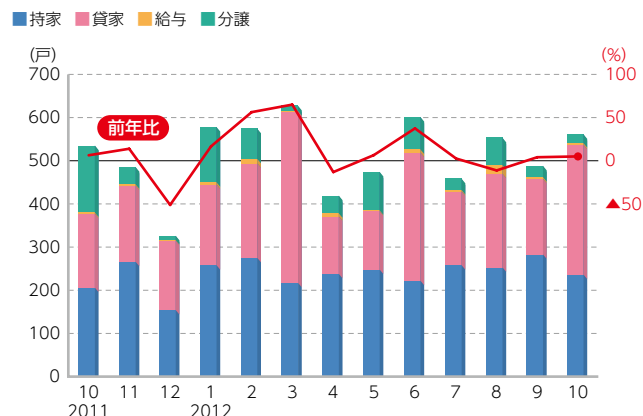
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、561戸と前年同月比4.9%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。

「分譲」は、前年同月にマンション着工が相次いだ反動で前年を下回りましたが、「持家」「貸家」が消費税増税前の駆け込み需要を意識した着工により好調に推移し、全体では前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



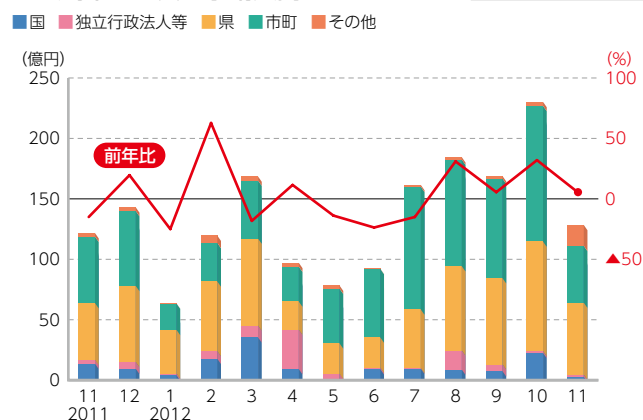
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比7.9%増の463件、金額は同5.5%増の128億円となり、請負金額は4ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、トンネル関連工事のあった「県」が前年比で増加した他、福祉施設の改築工事があった「その他」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 大型倒産発生により、負債総額は大幅に増加

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比9.1%減の10件、負債総額が同約17倍増の約106億円となりました。

ゴルフ場運営で販売不振を原因とする約78億円の倒産があったほか、宿泊関連でも約17億円の倒産が発生する等、大型倒産の発生が相次ぎ、負債総額は大幅に増加しました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られる

生産活動は、電子部品・デバイスが4ヶ月で低下する等、弱い動きが見られる他、総合指数においても100を下回る水準が続いています。住宅建設は2ヶ月連続で前年を上回ったものの、消費面では、大型小売店販売額が15ヵ月連続で前年を下回り、弱い動きが続いています。

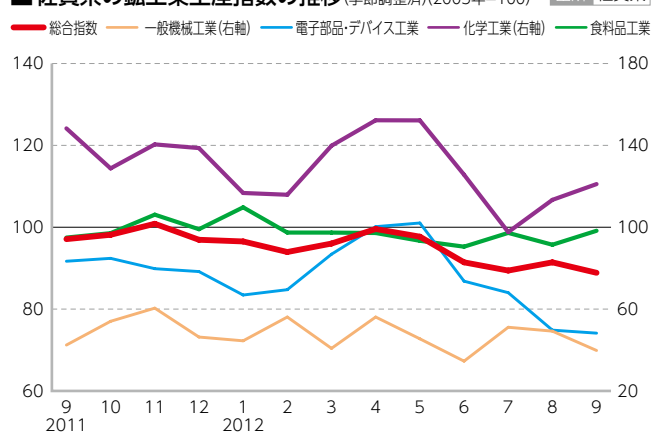
佐賀県の景気は、総じて持ち直しの動きに鈍化の兆しが見られます。

1. 生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.9となり、前月比2.9%低下しました。

主要業種では、医薬品等が増産となった化学や、清涼飲料水等が増産となった食料品が上昇した一方、シリコンウェハー等の生産が減少した電子部品・デバイスに加え、金属工作機械が減産となった一般機械が低下しました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 佐賀県



2. 大型小売店 | 15ヵ月連続で前年を下回る

10月の大型小売店販売額は、前年同月比2.4%減の54億円と、15ヵ月連続で前年を下回りました。

化粧品や宝飾品等の一部の商品是好調でしたが、主力の衣料品や飲食料品等、全体的に売上は低調に推移しました。

■ 佐賀県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局





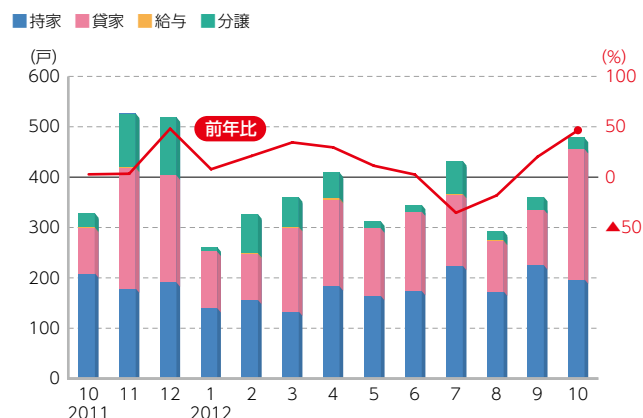
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

10月の新設住宅着工戸数は、478戸と前年同月比45.7%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」「分譲」はほぼ前年並みの水準となりましたが、「貸家」は消費税増税を意識した着工数の増加が見られ、前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



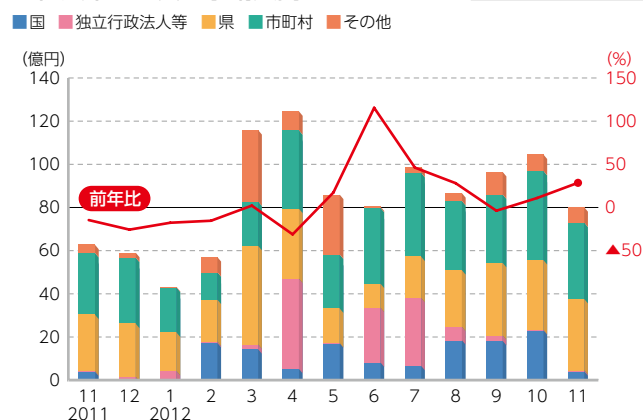
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

11月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比17.3%増の346件、金額は同27.7%増の80億円となり、請負金額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、学校改修工事等のあった「市町村」をはじめ、道路整備及び河川改修工事のあった「県」が前年比で増加する等、全ての発注者で前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比2倍増の6件、負債総額は同18.6%減の約4億円となりました。

建設業および小売業で販売不振を原因とする1億円以上の倒産が2件発生しました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

